

教育アンケートの結果から

このたび実施しました保護者アンケートには、345名の皆様からご回答をいただき、回答率は約92%となりました。これほど多くの保護者の皆様にご協力いただいたことは、日頃から学校の取組や子どもたちの成長に関心を寄せ、学校と家庭が同じ思いで子どもを支えようとしてくださっていることの表れであると、大変ありがたく受け止めています。本号では、このアンケート結果から見えてきた本校のよさや今後の課題をお伝えし、よりよい学校づくりにつなげていきたいと考えています。

質問項目	肯定的意見の割合			過去比較	
	R7	R6	R5	R6比	R5比
1 お子さんは楽しく学校へ行っていますか。	88.7	93.3	91.2	- 4.6	- 2.5
2 お子さんは友だちと仲良く生活していますか。	93.3	94.4	92.9	- 1.1	+ 0.4
3 お子さん一人一人の良さが認められ、大切にされていますか。	89.6	88.7	82.6	+ 0.9	+ 7.0
4 教職員はお子さん一人一人に熱意をもって教育にあたっていますか。	86.4	85.5	84.2	+ 0.9	+ 2.2
5 学校は、「学校だより」「ホームページ」「学年通信」等で、学級の様子を分かりやすく伝えていきますか。	88.7	90.9	86.8	- 2.2	+ 1.9
6 教職員は授業で楽しく、わかりやすく、基礎的な学力が身に付くよう、指導していますか。	87.8	84.2	80.8	+ 3.6	+ 7.0
7 「東小タイム」に漢字と算数の学習を位置付けたり、家庭とより連携した宿題提出を促したりしました。このことがお子さんの基礎学力を付けることに効果が出ていますか。	75.1	67.3	67.2	+ 7.8	+ 7.9
8 「東小タイム」に朝読書を位置付けるなど「読書」に力を入れていますが、お子さんは読書に親しんでいますか。	61.7	64.6	58	- 2.9	+ 3.7
9 「あいさつ」が広がるように力を入れていますが、子どもたちは気持ちのよいあいさつができていますか。	78.8	84.2	81.6	- 5.4	- 2.8
10 めあてをもって運動に取り組める子を目指していますが、子どもたちは安全や健康に気を付けて生活したり、運動や遊びに親しんだりしていますか。	84.1	87.7	87.4	- 3.6	- 3.3

【成果について】

全体として、多くの項目で8割以上の保護者の皆様から肯定的な評価をいただいております。子どもたちが安心して学校生活を送っている様子がうかがえます。日頃から学校の取組を温かく見守っていただき、また教職員の働きかけを評価していただいていることを、大変ありがたく感じております。特に「③一人一人のよさを認めること」「④教職員の教育への熱意」「⑥教職員の指導」「⑦東小タイムや家庭学習の習慣化」といった、授業や学習に関する項目では、3年間を通して評価が着実に伸びてきました。これは、授業の中で「わかった」「できた」を積み重ねられるように学習の進め方を工夫したり、つまづきが見られる子には丁寧に声をかけたりするなど、日々の授業改善を重ねてきた成果であると受け止めています。

また、東小タイムの取組や家庭学習についても、学年に応じた内容や宿題の量、その進め方を考え、学校と家庭が同じ方向を向いて子どもたちの学びを支えられるよう、教職員が継続して働きかけてまいりました。さらに、今年度から本格実施した「ひがしー

検定」については、基礎・基本の定着を目的に、学年の実態に応じて内容や実施方法を整えながら取り組んできました。自由記述でも「繰り返し学習できている」「力が付いてきたと感じる」など、前向きなご意見を多くいただきました。こうした声は、子どもたちの努力はもちろん、日々の指導を積み重ねている教職員にとっても大きな励みになります。

一方で、8割前後の高い肯定的意見をいただいているものの、「①楽しい学校」「⑨あいさつ」「⑩運動や遊び」については、年々、下降傾向が見られます。特に「⑧読書」については、読書習慣の定着が引き続き課題であり、ご家庭とも、より連携しながら、子どもが本に親しむ環境づくりを工夫していきます。今年度の結果及び過去2年の比較から、今年度中に改善が必要と感じられた点につきましては、教職員間で丁寧に共有し、委員会活動も軸にしながら「遊び」「あいさつ」「読書」について、子どもたちが主体的に取り組める仕組みを整え、「楽しい学校」となるよう改善を重ねてまいります。

自由記述欄には、今年度の成果として117件の温かいご意見をお寄せいただきました。子どもたちの成長をともに喜び、学校の取組を前向きに受け止めていただいていることが伝わり、私たち教職員にとって大きな励みとなっています。紙面の都合上、すべてのご意見を掲載することはできませんが、その一部を次に紹介させていただきます。なお、今回いただいた数値結果やご意見は、すべて全教職員で共有しています。数値の背景や意味を丁寧に捉え、今後の学校づくりに生かしていきます。引き続き、保護者・地域の皆様のお力を借りながら、「笑顔にあふれた“楽しい”学校」をつくっていきたいと考えています。

①学習習慣づくりについて

- ・「ひがしー検定」による家庭学習の習慣化
- ・基礎的・基本的な知識・技能の定着を目指した授業

今年度から年間を通して取り組んできた「ひがしー検定」について、保護者の皆様から多くの温かいご意見をいただきました。「ひがしー検定が勉強を始めるきっかけになっている」「賞状がもらえることで、やる気が続いている」「何度も練習することで自信がついた」といった声から、頑張りが目に見える形で認められることが、子どもたちの意欲や学習を続ける力につながっていることが伝わってきました。

なお「ひがしー検定」に向けた家庭学習は、毎日必ず行ったり、提出したりすることを求めるものではありません。配布されたプリントの漢字が正しく書けるよう、可能な範囲で練習に取り組み、その内容を自主学習として提出することもできる、という位置付けです。ご家庭におかれましては、励ましの声かけやコメントの記入、丸付けなど、日常生活の中で無理のない形で関わっていただければ幸いです。

また、宿題については、まずはすべての子どもが家庭で宿題に取り組み、提出できるように「家庭学習の習慣化」を目標として昨年度より進めてきました。一方で、宿題の量が少ないと感じられる保護者の方がいらっしゃることも、学校として受け止めています。そのため、必要に応じて自主学習に取り組むことで、子ども一人一人が自分の課題に合わせて学びを広げられるようにしています。日頃より、お子さんの家庭学習を温かく見届け、支えていただいていることに、心より感謝申し上げます。

さらに、授業の中でも、基礎的・基本的な知識や技能については、十分に「できるようになる」まで取り組む時間を確保した授業づくりを大切にしています。これからも、

学校と家庭が連携しながら、一人一人の「できた」「頑張った」という実感を大切に、授業・家庭学習・ひがし一検定の取組をつなげて、学ぶ力を着実に育てていきたいと考えています。

②あいさつや人を大切にする心の育ち

- ・ じえいあいさつの認めと課題
- ・ 互いを認め尊重する継続的な指導

「学校だけでなく地域でも自分からあいさつをしている」「あったか言葉の取組が素敵だと思う」といった声から、学校での指導が日常生活へと広がりつつある様子がうかがえます。あいさつ運動や「じえいあいさつ」、あったか言葉・「ほめほめカード」などの取組を通して、相手を思いやる気持ちや言葉の大切さが、子どもたちの中に少しずつ根付いてきていることを、学校として大変心強く感じています。

また、本校では、人権集会を通して「一人一人の人権を大切にする」とを全校で確認するとともに、「みんな違ってみんないい」という考え方を大切にしながら、日常の学習や生活の中でも、互いを認め合い尊重する指導を続けてきました。こうした積み重ねが、あいさつや言葉遣いにも表れ始めているものと受け止めています。一方で、「学校内ではあいさつができていますが、地域ではまだ十分とは言えない」などのご意見もいただいております。成果の裏にある課題も見えてきました。学校としては、これまでの取組の成果を大切にしながら、あいさつが学校内にとどまらず、地域や日常生活の中でも自然にできるよう、引き続き意識づけや働きかけを行ってまいります。今後も、形だけでなく心の伴った行動として身に付くよう、子どもたちとともに、丁寧に指導を重ねてまいります。

③人とのつながりと安心して過ごせる学校生活について

- ・ 異学年での交流
- ・ チーム担任制による複数の目での指導・支援

「上級生が優しく教えてくれる」「男女関係なく仲が良いところが安心」「チーム担任制でいろいろな先生に見てもらえて心強い」といった声から、子ども同士の温かな関わりや、教職員との信頼関係が、学校生活の安心感につながっていることが伝わってきました。本校では、子どもたち一人一人の良さに目を向け、それを認め合い、広げていくことを大切にしています。そのために、異学年交流を通して、学年を越えて関わり合う場を意図的に設けるとともに、チーム担任制を生かして、複数の教職員が子どもたちと関わっています。また、教職員の打合せにおいても、子どもたちの行動や成長の様子、よいところを具体的に伝え合いながら、支援や指導の方向性を共有しています。今後も、子どもたち自身が互いの良さに気づき、教職員もそれを言葉にして認め、励ましていく取組を大切にしながら、困りごとや小さな変化を早く捉え、すべての子どもが安心して過ごせる学校づくりを進めてまいります。

④地域連携・地域学習について

・学校運営協議会、地域の皆さんのお力を借りた地域学習の成果

「地域ならではの体験学習が良かった」「熊や天候への対応をしてもらえて安心した」「避難所開設訓練の授業参観に参加し体験して知ることができた」といった声から、地域連携に関わって、子どもたちの成長や保護者の安心につながっていることが分かりました。

今年度、1年生では地域の方に教えていただきながら「昔遊び」を体験し、2年生では「焼き芋づくり」を通して人との関わりや季節のよさを学びました。3年生では、本年度から新たに学習として位置付け、地域の文化に触れる「栗きんとん」について、栗きんとんづくりやマロンパークの見学などを行いました。4年生では、「四ツ目川に関わる防災・環境学習」を行い、四ツ目川の災害についての紙芝居を見たりするなど、過去の災害や川とともに暮らす地域の知恵を学びながら、地域の自然や安全について考える学習を深めました。5年生では昨年度に引き続き、地域防災学習の一環として「避難所開設訓練」を行い、この学習は保護者の参観日としても位置付け、多くの保護者の皆様に学びの様子を見ていただく機会となりました。6年生では、地域の史跡を巡りながらふるさとへの理解を深める「中山道ウォーク」を実施しました。

これらの地域学習は、学校運営協議会の皆様をはじめ、地域の方々のお力添えにより実現しており、学校・地域・家庭がつながる学習活動となっています。学校としては、今後も安全を最優先に考えながら、地域や関係機関と連携し、体験を通して学ぶ機会を大切にしていきたいと考えています。

【課題点への今後の対応】

本年度の保護者アンケートでは、学校運営上の課題について80件の貴重なご意見をお寄せいただきました。どのご意見も、東小学校をよりよい学校にしていくための大切な声であり、教職員一同、真摯に受け止めております。いただいたご意見は、教職員で共有し、今後の学校運営や指導の改善に生かしていくことを確認しております。紙面の都合上、すべてのご意見に対して個別にお答えすることは難しいため、特にご意見の多かった内容について、以下のように学校としての考えと対応をまとめてお伝えします。なお、ここで十分に触れられなかった内容や、個別に詳しい説明や対応をご希望される場合には、学校までご連絡いただければ、個別にお話しさせていただくことも可能です。どうぞ遠慮なくお知らせください。

【課題点】

- 運動会参観日の周知と新たな個人懇談の設定
- 学校に関わる情報発信の改善
- 安心安全な学校生活の確保と相談支援室の活用

① 参観の機会について

保護者アンケートにおいて「参観日が少ない」「学校での子どもの様子をもっと直接見たい」というご意見をいただきました。学校としても、保護者の皆様に子どもたちの学校生活の様子をご覧いただくことは、大切であると考えています。そのため、今年度より新たな取組として、運動会直前に「運動会参観日」を位置付け、練習の様子を参観していただく機会を設けました。しかしながら、この取組について十分な周知ができておらず、結果として、参観日の趣旨などをご存じなかった保護者の方もおられたことを、校長として申し訳なく思っております。来年度も引き続き、運動会参観日は実施する予定です。なお、雨天時につきましては、駐車場の確保や練習日程の再調整などが難しいことから、やむを得ず中止とする場合があることをご理解ください。

また、運動会の種目や開催日時についてのご意見もいただきました。運動会の教育的（体育的・特別活動的など）なねらいを大切にしながら、厳しい暑さへの対応や児童の心身を考慮した取組期間などを踏まえ、今年度同様の日程、種目数を考えております。

② 個別懇談について

「先生と直接話す機会をもう少し増やしてほしい」「子どもの様子を具体的に聞きたい」というご意見を受け、個別懇談の在り方について見直しを行います。来年度からは、個別懇談の回数を1回増やすことを予定しています。時期については、5月の連休明け（予定：5/11-5/15）に進級後の学校生活や友人関係、学習への取り組みの様子をお伝えする機会、9月上旬（予定：9/7-9/11）に前期の学習面・生活面の様子を振り返る機会を想定しています。これまで前期の所見では、紙面の制約もあり、学習や生活の様子についてお伝えできる内容に限りがありました。そこで、懇談という形で直接お話しすることで、より具体的にお子さんの姿をお伝えしたいと考えています。そのため、9月の個人懇談も希望制ではなく、全家庭を対象とした個別懇談を位置付けることを予定しています。このような取組を行うことから、前期通知表「こどものすがた」は評定（学習面はABC、生活面は○）のみとし、所見欄は設けず、懇談を通して一人一人の学習や生活の様子を丁寧にお伝えしていく予定です。

③ 広報（通信・写真・情報発信）について

「学校での取組や子どもの様子が見えにくい」「写真をもっと見たい」といったご意見が寄せられました。今後も、学校ホームページ、すぐーる、各種通信を活用しながら、子どもたちの日常や行事の様子がより伝わるよう、改善に努めてまいります。写真の掲載については、肖像権や個人情報への配慮を十分に行った上で進めていきます。行事や校外学習など、下校時刻を含めた各種情報について「連絡がもう少し早く、詳しいと助かる」というご意見もいただきました。今後は、早めに年間や学期の見通しをお伝えすること、すぐーる等を活用して追加説明や補足連絡を行うことを意識し、保護者の皆様が予定を立てやすく、安心して学校行事に関われるよう改善していきます。

④ 安全・安心な学校生活について

子どもたちの言葉遣いや授業中の様子、いじめに関する不安、不登校など、学校生活の根幹に関わる重要なご指摘をいただきました。校長として、これらの声を大変重く受け止めています。学校は、すべての子どもにとって安全で安心して過ごせる場所であればならず、そのための取組を継続的に見直し、強化していく必要があると考えています。

本校では、いじめに対して「早期発見・早期対応」を基本とし、小さな変化や兆しを見逃さず、事実確認と適切な指導・支援を速やかに行うことを大切にしています。学校生活における暴言、乱暴な行動など、相手を傷つける言動については、決して許されるものではなく、教職員が毅然とした態度で指導し、一貫した対応を、さらに努めていきます。定期的に実施する児童用アンケートの対応に加え、今年度よりスタートしたチーム担任制の特長を生かし、複数の教職員の目で子どもたちの様子を観察し、気になる行動や変化について、職員間で情報共有を行います。

また、校内には、お子さんが気持ちを落ち着けたり、安心して過ごしたりできる相談支援室（校内支援センター）を設けています。担任はもちろん、管理職や教育相談担当職員を含めた複数の職員で連携しながら支援を行っています。お子さんの様子で気になることや、登校に関する不安がありましたら、どうぞ早めに学校へご相談ください。

登下校中の車道へのはみ出しやふざけ歩きなどについては、全体指導や通学班での指導、必要に応じた個別指導を行いながら、繰り返し安全な行動を身に付けられるよう取り組んでいきます。また、熊の出没情報や不審者に関する情報が学校に入った場合には、速やかに警察署をはじめとする関係機関と連携し、注意喚起や校区内の見守り体制の強化など、子どもたちの安全確保を最優先にした対応を行っています。気象警報が発令された場合については、年度当初にお伝えした対応方針に基づいて行動します。さらに、猛暑や雷などの気象状況により下校時の安全が確保できないと判断した場合には、子どもたちの命と安全を最優先に考え、引き渡し下校や下校時間の変更等を含めた対応を、東小学校の校区状況をもとに判断していきます。